

川内原子力発電所温排水影響調査事業

村田圭助, 西 広海, 稲森重弘

【目 的】

昭和57年度からの継続調査で、川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を調査する。

【方 法】

調査の日程、項目は下記のとおりである。調査項目は、水温・塩分、流況、海生生物(海藻類、潮間帯生物(動物))、主要魚類及び漁業実態調査で、調査定点、方法とも前年と全て同じである。

調査項目	調査の内容	実 施 時 期		
		春 季	夏 季	冬 季
1 水温・塩分	(1)水平分布 (2)鉛直分布		平成28年7月18日 平成28年7月18日	平成29年2月26日 平成29年2月26日
2 流 況	(1)25時間調査 (2)15日間調査		平成28年7月18～19日 平成28年7月15日 ～7月30日	平成29年2月26日 ～2月27日 平成29年2月25日 ～3月12日
3 海 生 生 物	(1)海藻類 (2)潮間帯生物	平成28年5月26～27日 平成28年5月26～27日		
4 主 要 魚 類 及 び 漁 業 実 態	(1)イワシ類(シラス) バッチ網 (2)マダイ,チダイ ごち網	平成28年1月～12月(周年) 平成28年4月～12月		

【結 果】

温排水の拡散範囲は、過去と同様、放水口周辺に限られており、また、流況や周辺海域の海藻類、潮間帯生物(動物)、主要魚類及び漁業実態についても、概ね過去の調査結果の変動の範囲内であった。なお、詳細な結果については、平成28年7月27日(第1回)、平成28年11月14日(第2回)に開催された鹿児島県海域モニタリング技術委員会に提出した調査結果報告書及び『平成27年度温排水影響調査報告書』に記載したとおりである。